

3. 「小学生の音楽3」 点字教科書編集概要

点字教科書の最初には、次の説明を付けています。

〈この教科書の書き方と点字の楽譜について（3年）〉 <点1-p1~6>

1 この教科書の書き方や順序

始めに、「歌詞」を書いています（一マス目の「⠠⠢⠠⠮」は1番の歌詞、「⠠⠢⠠⠮」は2番の歌詞です）。

次に、楽譜を書いています（一マス目から歌詞、次の行の3マス目から楽譜を、セットにして書いています）。

⠠⠢⠠⠮ で始まるのが音符などです。

⠠⠢⠠⠮

□□□□（がくふ）

はるの□おがわわ 「歌詞」

□□⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ 「音符」

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮

その後、歌い方などについての説明を書いています。

ページの下、長い棒線の下には、速さの記号や作詞・作曲者などが書いてあります。

速さの記号の 例えば ⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ は、「1分間に ⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮（4分音符）を104打つ速さ」です。

2 点字の楽譜の読み方

(1) 音符

点字の一マスで音の高さと長さを表します。上の4点（1 2 4 5の点）が音の高さ、下の2点（3 6の点）が音の長さを表しています。

「ド レ ミ ファ ソ ラ シ」を短い音符から順に書くと、次のようになります。

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（8分音符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（4分音符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（2分音符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（全音符）

（1 6分音符は全音符と同じ）

(2) 休符

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（8分休符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（4分休符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（2分休符）

⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮⠠⠢⠠⠮ □□（全休符、16分休符）

全音符（全休符）と16分音符（16分休符）は同じ記号ですが、1小節の中の数で区別します。

(3) オクターブの記号

まん中の高さの音符には5の点、高い音には46の点、低い音には456の点を、それぞれ音符の前に付けます。

まん中の「ドレミ」
 高い「ドレミ」
 低い「ドレミ」

この記号は、近くの音へ移るときは省略しますが、同じオクターブでも大きく離れる場合には付けます。

(例)

→ (省略)
 (付ける)
 → (省略)
 (付ける)

(4) 付点

音符や休符の後ろに「3の点」を付けて表します。

のように後ろに「3の点」が付くと、 の長さの一つの音符になります。

 —
 —

(5) 小節の区切りとつなぎの記号

小節の区切りは一マスあけです。小節の途中で行を移すときは、「5の点」を付けてから行移しをします。

(6) 拍子記号 (など)

楽譜の最初に示しています。

は「1小節の中に4分音符が四つ」の意味です。ほかに、 などもあります。また、これらの前に や が付くと調子が変わります。

(7) その他の記号

— 息継ぎ (ブレス) の記号
 — 楽譜の終わり
 — 楽譜の一区切りの終わり
 — タイ
 — スラー

3年の原典のページと点字のページ

(注) 以下、(p2)等は「原典ページ」、<点[p1]> <点2-p1>等は点字の巻ページです。

<点字 第1巻>

ようこそリコーダーの世界へ (p2) <点[p1]>

3年生 学習 マップ (p4) <点[p4]>

(この教科書に出てくるマークとキャラクター) (p6・裏表紙) <点 [目次p5-8]>

<この教科書の書き方と点字の楽譜について> <点p1~6>

1 音楽で 心をつなげよう (p8) <点p7>

友だちと声を合わせて歌いましょう (p8) <点p7>

「ハッピー ソング」(p8) (歌詞) <点p7> (楽譜) <点p9>

(そだてよう) リズムでなかよくなろう (p9) <点p12>

春の様子を思いうかべて、歌い方をくふうしましょう (p10) <点p14>

「春の小川」(p10) (歌詞) <点p14> (楽譜) <点p15>

(がくふ マスター) (p11) <点p17>

曲のかんじを生かして歌いましょう (p12) <点p18>

「茶つみ」(p12) (歌詞) <点p18> (楽譜) (p14) <点p19>

2 歌って音の高さを かんじとろう (p16) <点p24>

音の高さに気をつけながら、歌ったりえんそうしたり しましょう (p16) <点p24>

「ドレミで歌おう」(p16) (歌詞) <点p24> (歌の楽譜) <点p25> (けんばん楽器) <点p26>

ムーブ (p17) <点p28> 「上の音符を見ながら、『ド』から高い『ド』の音を4分音符で書いてみよう」


(「墨字の五線譜と音符の位置」の図) <点p29>

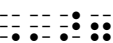
(そだてよう) ドレミと友だちになろう (p17) <点p31>

楽器と合わせて、明るい声で歌いましょう (p18) <点p32>

「海風きって」(p18) (歌詞) <点p32> (楽譜) <点p33>

(がくふ マスター) (図) (p19) <点p37~41>

ト音記号は  ですが、点字の楽譜では使わずに音符を書きます。

 の記号も使われています。

3 リコーダーのひびきに親しもう (p20) <点p43>

はじめましてリコーダー (p20) <点p43> (リコーダーの図) <点p44>

(参考曲) 「小鳥のために」(p21) <点p48>

リコーダーと友だち (p22) <点p49>

(きこう→鑑賞) 「ピタゴラスイッチ」(p23) <点p51>

タンギングと息の使い方 (p24) <点p52>

(そだてよう) いろいろな「シ」の音であそぼう (p25) <点p54>

(がくふ マスター) (p25) <点p56>

タンギングに気をつけて きれいな音でふきましょう (p26) <点p58>

(わらべうたに ちょうせん!) (p26) (楽譜) <点p59>

「きれいな ソラシ」(p27) (楽譜) <点p62>

息の使い方に気をつけて 歌うようにふきましょう (p28) <点p64>

「坂道」(p28) (楽譜) <点p64>

(そだてよう) いろいろな音であそぼう (p28) <点p66>

「雨上がり」(p29) (楽譜) <点p67>

4 拍子によってリズムをかんじとろう (p30) <点p69>

2拍子によってえんそうしましょう (p30) <点p69>

「ゆかいな木きん」(p30) (歌詞) <点p69> (歌の楽譜) <点p70>

(合奏の楽譜) <点p72> (けんばんハーモニカ 1) <点p72> (リコーダー) <点p73>

(けんばんハーモニカ 2) <点p74> (木きん) <点p75>

(がくふ マスター) (p31) <点p76>

拍子のかんじを生かして えんそうしましょう (p32) <点p77>

「あの雲のように」(p32) (歌詞) <点p77> (リコーダー・歌の楽譜) <点p78>

「アチャ パチャ ノチャ」(p33) (リコーダーの楽譜) <点p79> (がくふ マスター) <点p81>

くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう (p34) <点p83>

(音楽づくり) 手拍子でリズム (p34) <点p83> 「3」<点p85> 「4」(チャレンジ)<点p86>

5 せんりつのとくちょうをかんじとろう (p36) <点p89>

せんりつの音の上がり下がりに気をつけて歌いましょう (p36) <点p89>

「とどけよう このゆめを」(p36) (歌詞) <点p89> (歌の楽譜) <点p90>

(リコーダー) <点p92> (せんりつの図) <点p93>

せんりつの音の上がり下がりに気をつけて ききましょう (p38) <点p95>

(鑑賞)「メヌエット」(p38) <点p95> (せんりつの図) <点p97>

曲の山をかんじながら歌いましょう (p40) <点p99>

「ふじ山」(p40) (歌詞) <点p99> (楽譜) <点p100>

日本に古くからつたわる せんりつのをよさをかんじとって歌いましょう (p44) <点p104>

「うさぎ」(p44) (歌詞) <点p104> (楽譜) <点p104>

6 せんりつのもたまりをかんじとろう (p46) <点p108>

せんりつのもたまりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましょう (p46) <点p108>

(かんじょうのコース)「かね」(p46) <点p108>

(歌のコース)「歌おう 声高く」(p48) (歌詞) <点p112> (楽譜) <点p113>

(そだてよう) リコーダーのひくい音であそぼう (p49) <点p115>

せんりつのもたまりをかんじとって えんそうしましょう (p50) <点p118>

「メリーさんのひつじ」(p50) (4拍子の楽譜) <点p118> (3拍子の楽譜) <点p119>

<点字 第2巻>

7 いろいろな音のひびきに親しもう (p52) <点2-p1>

トランペットの音色に親しんでききましょう (p52) <点2-p1>

(鑑賞)「トランペットふきの休日」(p53) <点2-p1>

【楽器ずかん】トランペットのなかまを知ろう (p54) <点2-p3>

(トランペット、ホルンの図) <点2-p5>

(参考曲)「よろこびの歌」(p54) <点2-p4>

重なり合う音のひびきを かんじとりながら合奏しましょう (p56) <点2-p7>

「パフ」(p56) (合奏の楽譜) <点2-p8> (リコーダー1・けんばんハーモニカ1・歌1) <点2-p8>

(リコーダー2・けんばんハーモニカ2・歌2) <点2-p9> (てっきん) <点2-p11>

(ていおん楽器) <点2-p12> (歌詞) <点2-p13>

時間のながれに合わせて、音楽をつくりましょう (p58) <点2-p15>

(音楽づくり) クロックミュージック (p58) <点2-p15>

「3」(p59) <点2-p16> 「4」<点2-p19>

8 ちいきにつたわる音楽でつながろう (p60) <点2-p20>

祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう (p60) <点2-p20>

(鑑賞) 神田囃子「投げ合い」(p60) <点2-p20>

(見つける)「投げ合い」の唱歌 (p62) <点2-p23>

(チャレンジ) ちいきにつたわる祭りばやしを調べよう (p63) <点2-p26>

3つの音で、自分たちのおはやしをつくりましょう (p64) <点2-p29>

(音楽づくり)「ラ」「ド」「レ」の音でせんりつづくり (p64) <点2-p29>

(チャレンジ) しめだいこを打ってみよう (p65) <点2-p33>

9 思いを音楽で表そう (p66) <点2-p35>

歌詞の表す様子を思いうかべながら、曲のかんじを生かして歌いましょう (p66) <点2-p35>

「帰り道」(p66) (歌詞) <点2-p35> (楽譜) <点2-p36>

(がくふ マスター) (p66) <点2-p39>

いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら合奏しましょう (p68) <点2-p40>

「エーデルワイス」(p68) (リコーダー1) <点2-p40> (リコーダー2) <点2-p41>

(てっきん) <点2-p42> (けんばんハーモニカ) <点2-p42>

歌いつごう日本の歌 (p70) <点2-p45>

「ゆりかごの歌」(p70) (歌詞) <点2-p45>

「七つの子」(p71) (歌詞) <点2-p47> (楽譜) <点2-p47>

「どこかで春が」(p71) (歌詞) <点2-p49>

みんなで 楽しく (p72) <点2-p50>

「ほしぞら」(p72) (歌詞) <点2-p50> (楽譜) <点2-p51>

「おはよう おはよう」(p73) (歌詞) <点2-p54> (楽譜) <点2-p55>

「にじ」(p74) (歌詞) <点2-p56> (楽譜) <点2-p58>

「ゴーゴーゴー」(p75) (歌詞) <点2-p60> (楽譜) <点2-p62>

「また あそぼ」(p76) (歌詞) <点2-p68> (歌の楽譜) <点2-p69> (リコーダー) <点2-p71>

「Head, Shoulders, Knees And Toes」(p77) (歌詞) <点2-p72> (楽譜) <点2-p74>

「友だち」(p78) (歌詞) <点2-p77> (楽譜) <点2-p78>

「よろこびの歌」(p78) (リコーダー) <点2-p80>

「ゆかいな まきば」(p79) (リコーダー1) <点2-p81> (リコーダー2) <点2-p82>

「ミッキーマウス マーチ」(p80) (けんばんハーモニカ) <点2-p83>
(リコーダー) <点2-p85> (木きん1) <点2-p86> (木きん2) <点2-p87>
(タンブリン) <点2-p88> (小だいこ) <点2-p89>
【ふりかえりの ページ】(1音色～11たてとよことの関係) (p82) <点2-p90>
「君が代」(p86) (歌詞) <点2-p95> (楽譜) <点2-p95>
【リコーダーの運指表】(p84) <点2-p97>
【いろいろな音符・休符・記号】(p84) <点2-p99>